



亀山市立白川小学校だより
第 7 号
平成 29 年 5 月 1 2 日 (文責 川合)

W

～であい ふれあい そして未来へ～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成

<平成29年度の学校経営方針>

今年度、白川小学校では次のことを目指して、学校経営を進めていきたいと思っています。さらには、こうしためざす姿の実現に向け、取り組んでいきたい重点目標を以下のように設けています。目標は、大きく5点です。そしてその目標毎に、2～5の具体的な行動計画を決めております。本年度の末には、これらの目標等について皆様のご意見やご感想などもいただければと思っています。

保護者・地域の皆様には、今後とも様々な面で、ご支援・ご協力をいただくこともあろうかと思えます。ごらんになって、お気づきの点などありましたら、学校の方までご意見をいただければ幸いです。PTA 総会の時に重点目標および行動計画までお知らせしていなかったのでお知らせします。

学校教育目標

「であい ふれあい そして未来へ」～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

めざす学校像 「一人ひとりの子どもが輝く学校」

めざす子ども像

- 思いやりのある子
- 自分を発揮できる子
- 自分の思いを追い求める子

めざす職員像

- 一人ひとりの子どもの持つよさを見つけ、認め、引き出すことができる職員
- 保護者や地域との連携を大切にする職員
- 心身の健康に気を配り、助け合って、働きやすい環境作りのための改革ができる職員

○重点目標及び行動計画

【1】全ての子どもに基礎的な知識・技能を身につけさせ、主体的に学ぶ姿勢を育む。

- ① めあてを知り、見通しをもって学習し、友だちと話し合う中で学習を深める姿勢を育む。
- ② 書く活動を重視して、ふりかえりを大切に、次への学びを追究する姿勢を育む。
- ③ 「学習の手引き」をもとに学習準備を確実にし、学習規律の徹底を図る。
- ④ 学校図書館の利用など、読書活動を充実させる。
- ⑤ 「家庭学習の手引き」をもとに保護者と協働して、家庭学習の徹底を図る。

【2】子どもに、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力をつけさせる。

- ①子どもたちの実態を把握し、学習指導に活かす。
- ②追究する学びをつくり出すために、研修テーマにそった授業改善を進める。

【3】共に生きる大切さがわかる子を育て、豊かな人間性を養う。

- ①体験学習・児童集会等で、子どもの創意を引き出し、達成感が味わえる活動を行う。
- ②道徳やすみがくタイム等で、心を揺さぶる活動場面やなかまとの関わりを高め合う場面を設定する。
- ③Q-U、仲間づくり、いじめ、体罰等アンケートを実施し、全体で交流し検証して指導にいかす。
- ④食育、保健指導等を通して、児童の健康安全の意識を高める。
- ⑤体力テストの検証や、体力向上外部講師等の活用を通して、児童の体力向上に努める。

【4】保護者・地域・三重大学等との連携を大切にしながら、生きる力の基礎を育む。

- ①学校の取り組みや子どもの様子を保護者、地域の方に発信する。
- ②保護者や地域の方々の学校行事への参加を促し、学校経営の改善につなげる。
- ③三重大学等との協働行事及び共同研究を行う。

【5】子どもが輝くために、教職員がやりがいを持ち一丸となって教育に取り組み、業務の効率化を進め自らの力量向上に努める。

- ①教職員満足度調査を実施し、その検証から改善活動に努める。
- ②校内衛生委員会を中心に、働きやすい職場作りに努める。

天気に恵まれて、全校田植え(5月12日)

12日(金)に延期していた今年度の全校田植えですが、よいお天気になりました。

佐野築さん、平川定弘さん親子、佐野重雄さんにお世話になり、小林一美さんの田んぼをお借りして全校での「田植え」を行いました。

体育館の北側に集まって、最初に児童会役員さんの司会で、開会式を行いました。多くの保護者の方にも来ていただき、児童会長のなるはさん(6年)より、「地域の方へ感謝し、がんばって田植えをしましょう。」とあいさつがありました。その後、講師の築さんはじめ4人の方の紹介、平川さんから「苗は3、4本、3本の指で土のところを持って、植えるんだよ。」等、植え方の注意を教えてくださいました。

田の畦(あぜ)に横1列に並び、一人ひとり苗の束をつかんで田んぼに入っていました。

低学年は、初めて入った田んぼの泥の感触に喜びながら、お兄さんお姉さんの指示を聞いて上手に植えていました。

高学年は何度も経験していることもあって、手慣れた手つきで、ちょっとした工夫ができるなど、経験のすばらしさを感じました。最後まで意欲的に植えてくれました。

一列植えるごとに、きれいに並んだ苗が見事に列を作っていました。

植え終わって、足を洗い、野上がりのいばら餅を食べたあと、閉会式です。感想発表では、2年生になって上手に植えられた。5年になって最後まで植えられた。来年になったらみんなをひっぱっていきたい。6年生からはいつも育ててもらっていてありがたいなあという交流の場となりました。体験を何度も積み重ねて得ること。そこに白川っ子のよさがのびるのではと思います。私もつい、子どもと一緒に田植えをすることができてうれしかったです。

ご協力いただきました、保護者の方、地域の方ありがとうございました。



きれいな花を咲かせましょう。

地域の方と花の種まき 5月11日(木)

3・4年生が5時間目に地域の方と花の種まきをしました。20名近い方にきていただきました。子どもたちに種のまき方を教えていただきながら種をまくことができました。担任からは花の名前やこれからの世話について学びました。これから、水やり、ポットへの移植そして本花壇への移植と作業は続きます。秋にサルビア・コリウス・マリーゴールドなどの花がきれいにさくことをめざして世話していきたいですね。地域のみなさんありがとうございました。

これからもよろしく願います。



上手にできましたね。

連休前、家庭科の調理実習で6年生が野菜炒めとスクランブルエッグそしていばらもちをつくりました。

あとで職員室に届けてくれたのですが、野菜のための炒め具合や色合いが絶妙でした。また、米粉で作ったいばらもちが柔らかくほどよい甘さでした。6年生のみなさん、ごちそうさまでした。



